

題　　言

海港工事號を呈す

本號を海港工事號とする事は誌上一種の涼味たるのみならず、海上に接する機會多き時を幸ひに、我國の海港工事の注意を促さんとするものである。

諸先輩が忙中を割愛せられし本號の寄稿及び所論は、何れも一國の先覺者としての達見實に敬服すべきものである。一國の政治も經濟も、此の技術的諒解の下に經綸を樹立しなければならぬ、特に本號を先覺的政治家に呈する所以である。

岡部博士の特種ドツクの設計

岡部博士の造函船渠は横濱港修築工事用として最近竣工したものであるが、其設計構造は最も合理的に出来たもので、擁壁及び扉は經濟的な特種設計である。斯る實際的に有益なる工事を一日も早く一人も多く知る事は國運の一進展として望ましい事である。

老體廣井博士の實驗

極端な言葉ではあるが、日本の太平洋岸に於て5,000,000馬力の動力が破壊的に浪費されてゐる云ふ事は事實である。外國は兎に角として、日本人は自然力の利用に何程の實行力を有せりや、現状頗る遺憾に耐へない。必ずしも大袈裟な試験設備を要せぬ、先づ手近の處に端緒を得べきである。

廣井博士が老體を以てして、小閑を斯る實驗に費されたるは、斯界に大なる暗示を與ふるものである。

井筒沈下方法の新發見

七月十九日、上野大宮間の荒川鐵道橋改良工事を見る。其の橋脚の井筒沈下工事は目下參觀者を以て賑つてゐるが、井筒内注水沈下法は大河戸博士の新發見で、沈下時刻の確實と安全なるは從來の施工法を全然改むべき工法である。

工事の詳細は大河戸博士の井筒沈下特許荷重設備機と共に次號に報すべきも、諸君は先づ其實地を観察せらるべし。單に工事の壯觀たるのみならず、之を視る事一日早ければ一日丈け早く益する處あるべく、悟る處あるべし。

近頃の東京市道路局

東京市の道路局が、近頃新聞紙上で市民の希望や意見に對して眞面目な解答を與へつゝあるは、當然の事とは云へ、近頃異彩ある事である。其他、市内道路の維持修理を工夫に區劃割付して、切投工法により獎勵改善しつゝある如き、結果の如何は兎に角、注目すべき事である。